

毎年 8/1 伝統行事 かわかんじょう

『かわかんじょう』は、毎年8月1日の夕刻に行われる神島地区の伝統行事です。暴れ川とされた狩野川の水霊を鎮め、水難者の供養や地区の安全を祈願するものであり、明治以降から続いています。燃えさかる松明を立てた麦わらのイカダを狩野川に流し、イカダを誘導する若者たちと神島橋の上で待つ人たちが「ウ、ウ、ウハイ」という独特の掛け声を掛け合う様子は、一見の価値があります。



神島区長 渡邊 吉明 さん

昔 から、このまちの人々は狩野川と共に生きてきました。『川の駅 伊豆城山』では、伝統行事『かわかんじょう』を見たり、伝統の友釣り技法『友釣り』を体験したりして、先人が守ってきた伝統を知ることができます。（※季節限定です）



小さい頃から『かわかんじょう』に関わってきました。昔は子どもがイカダを作りましたが、少子化の今は麦の種まきから全て大人が行ってます。川の駅で『かわかんじょう』が目玉され、再び盛り上げればと期待しています。



狩野川の伝統を知る



おもしろ自転車で楽しむ

全 国各地で大人気の『おもしろ自転車』が伊豆の国市にもやっています。『おもしろ自転車』とは、一般道では乗れないアイデア満載のユニークな自転車を一堂に集めたもの。『川の駅 伊豆城山』では12種類、約20台の『おもしろ自転車』を用意しています。中には、子どもからお年寄り、障がいのある人までみんなで楽しめるインクルーシブ自転車もあります。少ない力で動き、スピードも遅いので、普通の自転車が苦手な人でも楽しめます。家族みんなで乗りに来てください。

おもしろ自転車

開催日 / 土・日・祝日のみ
時間 / 10時～16時
料金 / 300円(15分)
※開催日時は、変更する場合があります。



インクルーシブ自転車②

左右のハンドルを回すことで前にも後ろにも進む自転車。回す方向や速さにより多彩な動きが可能です。



インクルーシブ自転車①

ペダルを漕ぐのではなく、歩くように踏み込むことで動く自転車。片足でも進むことが可能です。

ぱんだサイクル

見ているだけでも楽しめる自転車。自転車を漕ぐことができないお子さんも家族で楽しめます。



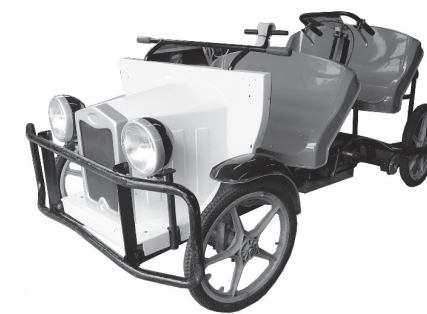
オートクラフト・IZU 高田 未彩都 さん

オートクラフト・IZUは、自転車のレンタル・販売を行っています。おもしろ自転車は子どもが乗るものと思われがちですが、この川の駅にはどんな人でも楽しめる自転車をたくさん用意しました。ぜひ、一度体験してみてください。私が製作に携わった自転車たちが、どんなふうに使ってもらえるのか、とても楽しみにしています。



オールサイクル

ハンドルをボートのオールのように前後に動かすことで進む自転車。体全体を使った運動になります。



カルテットサイクル

30年来的大人気の自転車。クラシックカータイプで、4人まで乗ることができます。



5月 から 11月

伝統釣法 鮎の友釣り



いっすりリングな釣り方がスポットを浴びて、近年、人気再燃の兆しがあるフィッシングでもあります。

狩 野川は、水生生物の宝庫。全国でも魚影が濃い川と言われていますが、中でも鮎は、狩野川を代表する魚です。そして狩野川は、伝統釣法・鮎の友釣り発祥の地と言われています(諸説あり)。『友釣り』とは、鮎釣りの方法の1つで、鮎の習性である『ナワバリ意識』を逆手にとった日本独特の釣法です。その釣り方は、釣り糸の先端におとりになる鮎と針をセットして流れに放し、縄張りを守ろうとオトリアユに体当たりしてきた鮎を針に引っかけて釣るといって、世界でも類を見ない、非常にユニークな釣り方です。伝統的な釣法である一方で、鮎を鮎にケンカさせると

伝統の友釣りを後世に伝えるために、子どもたちを対象とした鮎の友釣り教室を定期的に開いています。鮎の友釣りは世界の釣り人が注目していますが、まだまだニッチ(市場規模が小さいこと)です。

川の駅にあれば、手ぶらで友釣り体験できたり、鮎の塩焼きを食べたりできるような企画を準備中なので楽しみに！

狩野川漁港協同組合 組合長 井川 弘二郎 さん